

平成22年度

# 滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書



滝川市いじめ根絶シンボルマーク最優秀作品

平成24年2月

滝川市教育委員会



## はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、その報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。また、その際、客観性を確保する観点から、教育委員会以外の学識経験者による知見の活用を図ることとされています。

滝川市教育委員会は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆様への説明責任を果たすため、学識経験者、保護者、関係団体から成る「滝川市教育委員会の権限に属する事務の外部評価会議」からご意見等をいただきながら、平成22年度の教育委員会の事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、報告書を作成・公表いたしました。

この点検・評価報告書を通じて施策の効果の検証と改善を図りながら、教育施策を着実に推進していきたいと考えていますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成24年2月

滝川市教育委員会

## 目 次

### 1 教育委員会の活動状況について

(1)教育委員会の会議の開催状況 .....	1～5
(2)条例・規則等の制定、計画等の策定状況について .....	5

### 2 教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書

(1)点検・評価の流れについて .....	6
(2)点検・評価報告書について .....	7
①私立幼稚園振興交付金 .....	8
②確かな学力の向上を目指す教育の推進 .....	9
③適応指導教室の運営事業 .....	10
④心の教育推進事業 .....	11
⑤安全安心な学校環境の整備 .....	12
⑥高等学校教育の充実 .....	13
⑦家庭教育支援の推進 .....	14
⑧青少年活動の推進 .....	15
⑨生涯学習活動の推進 .....	16
⑩図書館活動の充実 .....	17
⑪学校との連携による子どもの読書活動支援 .....	18
⑫芸術文化の振興 .....	19
⑬歴史的文化遺産の保存と活用 .....	20
⑭博物館活動の充実①(美術自然史館・こども科学館) .....	21
⑮博物館活動の充実②(郷土館・森のかがく活動センター) .....	22
⑯生涯スポーツ・体力づくりの推進 .....	23
⑰競技スポーツ環境の充実及び支援 .....	24

# 1 教育委員会の活動状況について

## (1) 教育委員会の会議の開催状況

滝川市教育委員会の会議は原則として公開で、毎月1回を基本として開催するほかに、必要に応じて臨時会議を開催しています。また、滝川市教育委員会が所管する事項について調査及び研究を行うことにより様々な教育課題に対する活発な議論を行うため、滝川市教育委員協議会を設置しています。

### ① 教育委員会議

15回開催しました。

H22.4.15	〔議案〕 ・滝川市立高等学校教員の懲戒処分について
H22.4.26	〔報告〕 ・教育センターの今後のあり方について ・3月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ・平成22年度入学式における国旗・国歌の実施状況について ・平成22年度全国学力・学習状況調査について ・勤労青少年ホームについて 〔議案〕 ・滝川市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則 ・滝川市立学校管理規則の一部を改正する規則 ・滝川市教育委員会事務局職員等懲戒審査職員会議規程の一部を改正する規程 ・滝川市就学指導委員会議委員の選出について ・滝川市社会教育審議会委員の委嘱について 〔その他〕 ・各所管の年間業務計画について ・総務文教常任委員会学校視察について ・運動会の日程について ・教職員の服務規律等の実態に関する調査の実施について ・通告質問答弁要旨の訂正について
H22.5.21	〔報告〕 ・教育部補正予算について ・開西中学校改築基本設計プロポーザル審査結果について ・4月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ・明苑中学校の事故報告書について ・たきかわカルタ製作について ・年間パスポートの販売状況について ・ゴールデンウィーク中の来館者数 ・学びサポーターの配置について 〔議案〕 ・委員長の選挙について ・委員長職務代理者の指定について ・滝川市立高等学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例 ・滝川市少年育成センター指導員の選出について 〔その他〕 ・運動会の日程について ・社会教育審議会について ・温水プールの民間移管の進捗状況について

H22.6.24	<p>〔報告〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回市議会定例会一般質問について</li> <li>・入札執行状況(4月～6月分)</li> <li>・小中学校適正配置計画(案)保護者説明会の結果について</li> <li>・日本スポーツ振興センターの給付状況について</li> <li>・5月分児童生徒の教育相談等における状況報告について</li> <li>・学校支援地域本部事業について</li> <li>・財団法人滝川市生涯学習振興会経営状況報告について</li> <li>・社会教育施設の利用状況について</li> <li>・滝川市教育委員会の寄付等に関する感謝状贈呈基準</li> </ul> <p>〔議案〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滝川市立高等学校の授業料等徴収条例施行規則等の一部を改正する規則</li> <li>・学校職員の処分内申について</li> </ul> <p>〔その他〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校適正配置計画(案)地域懇談会の日程について</li> </ul>
H22.7.27	<p>〔報告〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公立高等学校配置計画案(平成23年度～25年度)</li> <li>・滝川市立学校職員の自家用車の公用使用に関する要綱の制定について</li> <li>・6月分児童生徒の教育相談等における状況報告について</li> <li>・心の教育推進事業の実績と平成22年度の推進計画</li> </ul> <p>〔議案〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度から使用する小学校用教科用図書の採択について</li> <li>・平成23年度に使用する中学校用教科用図書の採択について</li> </ul>
H22.8.31	<p>〔報告〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補正予算について</li> <li>・新滝川市活力再生プラン平成21年度実績報告について</li> <li>・小中学校適正配置計画(案)に係る説明会・懇談会の開催報告について</li> <li>・7月分児童生徒の教育相談等における状況報告について</li> <li>・「我が家のマナー」標語募集について</li> <li>・学校サポート事業について</li> </ul> <p>〔議案〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滝川市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則</li> <li>・滝川市教育委員会事務局職員の職名に関する規則の一部を改正する規則</li> <li>・学校職員の処分内申について</li> </ul>
H22.9.28	<p>〔報告〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回市議会定例会一般質問について</li> <li>・入札執行状況(7月～9月分)</li> <li>・8月分児童生徒の教育相談等における状況報告について</li> <li>・社会教育施設の指定管理の公募について</li> <li>・市立図書館の移転について</li> </ul>
H22.10.13	<p>〔議案〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局職員の懲戒処分について</li> <li>・学校職員の処分内申について</li> <li>・学校職員の処分内申について</li> </ul>
H22.10.28	<p>〔報告〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月分児童生徒の教育相談等における状況報告について</li> <li>・「いじめに関する実態調査」アンケート結果の概要と考察</li> <li>・滝川市指定文化財にかかる諮問について</li> <li>・開西中学校改築基本計画について</li> </ul>

H22.11.29	<p>〔報告〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第4回市議会定例会教育部補正予算について</li> <li>・10月分児童生徒の教育相談等における状況報告について</li> <li>・インフルエンザ様疾患発生について</li> <li>・図書館の移転について</li> </ul> <p>〔議案〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公の施設の指定管理者の指定について(滝川市音楽公民館)</li> <li>・公の施設の指定管理者の指定について(滝川市青年体育センター等)</li> <li>・公の施設の指定管理者の指定について(滝川市総合福祉センター等)</li> <li>・滝川市小・中学校適正配置計画について</li> <li>・滝川市指定文化財の指定について</li> </ul> <p>〔その他〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「新春教育懇談会」の開催について</li> </ul>
H22.12.27	<p>〔報告〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第4回市議会定例会一般質問について</li> <li>・滝川市立開西中学校改築検討委員会及び改築基本設計について</li> <li>・インフルエンザ様疾患発生について</li> <li>・11月分児童生徒の教育相談等における状況報告について</li> <li>・「特別支援教育連携会議」の設置について</li> <li>・「我が家のマナー」標語の募集について</li> <li>・「たきかわカルタ」の制作状況について</li> <li>・成人式の実施について</li> <li>・滝川市立東栄小学校・滝川市立東小学校統合準備委員会議について</li> <li>・平成22年度全国学力・学習状況調査結果について</li> </ul>
H23.1.26	<p>〔報告〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月分児童生徒の教育相談等における状況報告について</li> <li>・2月臨時議会教育部関連補正予算について</li> <li>・児童見守りシステムについて</li> <li>・滝川市立開西中学校改築基本設計の変更について</li> <li>・滝川市立東栄小学校・滝川市立東小学校統合準備委員会の各部会の開催結果について</li> </ul> <p>〔議案〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について</li> </ul>
H23.2.17	<p>〔報告〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・損害賠償請求事件について</li> <li>・インフルエンザ様疾患発生について</li> <li>・1月分児童生徒の教育相談等における状況報告について</li> <li>・出願状況について</li> <li>・生徒の進路状況について</li> <li>・車両損傷事故に伴う損害賠償額の決定について</li> <li>・補正予算について</li> </ul> <p>〔議案〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度教育予算について</li> <li>・滝川市総務部及び滝川市教育委員会の公の施設の指定管理者の指定に係る管理期間の特例に関する条例</li> <li>・滝川市立学校設置管理条例の一部を改正する条例</li> <li>・滝川市立図書館条例の一部を改正する条例</li> <li>・滝川市勤労青少年ホーム条例を廃止する等の条例</li> <li>・公の施設の指定管理者の指定について(滝川市民会館等)</li> <li>・公の施設の指定管理者の指定について(本町体育館)</li> </ul>

	〔その他〕 ・卒業式について
H23.3.1	〔報告〕 ・損害賠償請求事件に係る補正予算について
H23.3.29	〔報告〕 ・第1回市議会定例会一般質問等について ・インフルエンザ様疾患発生について ・2月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ・平成22年度卒業式における国旗・国歌の実施状況について ・平成23年度学びサポーターの配置状況について ・平成22年度卒業生進路決定状況について ・東北地方太平洋沖地震に係る行事等の状況について 〔議案〕 ・滝川市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則 ・滝川市教育委員会事務局職員被服規則の一部を改正する規則 ・滝川市教育委員会公印規則の一部を改正する規則 ・滝川市立小学校及び中学校通学区域規則の一部を改正する規則 ・滝川市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則 ・滝川市青年体育センター条例施行規則の一部を改正する規則 ・滝川市勤労青少年ホーム条例施行規則を廃止する規則 ・滝川市文化財保護審議会委員の委嘱について ・滝川市体育指導員の委嘱について ・道費負担教職員の任免に係る内申について ・滝川市立学校教員及び滝川市教育委員会事務局職員の任免について 〔その他〕 ・入学式について ・辞令交付式

## ②教育委員協議会

16回開催しました。

開催日	調査及び研究内容
H22.4.15	・教職員の服務規律等の実態に関する調査の実施について ・いじめ問題への取組の徹底について
H22.5.21	・「教職員の服務規律等の実態に関する調査」の集計結果について ・損害賠償請求事件について
H22.6.24	・視察(空知教育センター)
H22.7.27	・損害賠償請求事件について ・開西中学校改築基本計画平面図 ・学校訪問を終えて ・心の教育推進事業のまとめについて ・小中学校適正配置計画案に出された意見について
H22.8.11	・教育部補正予算について ・教職員の服務規律等の実態に関する調査報告書について ・開西中学校改築基本計画平面図について ・小中学校適正配置計画案に出された意見について
H22.8.31	・教職員の交通違反・交通事故の現状について
H22.9.28	・滝川市文化財の新たな指定について ・学校給食のあり方について ・開西中学校改築基本設計図面について



H21.10.13	・小中学校適正配置計画について ・文化財の指定について ・地域ICT利活用広域連携事業への参加報告と子ども見守り事業について
H22.10.28	・損害賠償請求事件について ・小中学校適正配置計画について
H22.11.10	・教育委員会点検・評価について ・小中学校適正配置計画について ・全国学力・学習調査の滝川市における調査結果の概要
H22.11.29	・教育委員会点検・評価について
H22.12.3	・教育委員会点検・評価について
H22.12.27	・平成23年度教育部関連政策協議について
H23.1.9	・平成23年度教育部関連政策協議について
H23.1.26	・損害賠償請求事件について
H23.2.17	・損害賠償請求事件について

## (2) 条例・規則等の制定状況について

平成22年度に制定された教育関係条例等の数は4件、教育委員会規則の数は12件です。(施行年月日がH22.4.2～H23.4.1のもの)

### ① 教育関係条例等

題 名	公布年月日	施行年月日
滝川市立高等学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例	H22.6.14	H22.6.14
滝川市総務部及び滝川市教育委員会の公の施設の指定管理者の指定に係る管理期間の特例に関する条例	H23.3.3	H23.3.3
滝川市勤労青少年ホーム条例を廃止する等の条例	H23.3.3	H23.4.1
滝川市立図書館条例の一部を改正する条例	H23.3.3	H23.4.1

### ② 教育委員会規則

題 名	公布年月日	施行年月日
滝川市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則	H22.4.26	H22.4.26
滝川市立学校管理規則の一部を改正する規則	H22.4.26	H22.4.26
滝川市立高等学校の授業料等徴収条例施行規則等の一部を改正する規則	H22.6.24	H22.6.24
滝川市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則	H22.8.31	H22.8.31
滝川市教育委員会事務局職員の職名に関する規則の一部を改正する規則	H22.8.31	H22.8.31
滝川市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則	H23.4.1	H23.4.1
滝川市教育委員会事務局職員被服規則の一部を改正する規則	H23.4.1	H23.4.1
滝川市教育委員会公印規則の一部を改正する規則	H23.4.1	H23.4.1
滝川市立小学校及び中学校通学区域規則の一部を改正する規則	H23.4.1	H23.4.1
滝川市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則	H23.4.1	H23.4.1
滝川市青少年体育センター条例施行規則の一部を改正する規則	H23.4.1	H23.4.1
滝川市勤労青少年ホーム条例施行規則を廃止する規則	H23.4.1	H23.4.1

## 2 教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について

### (1)点検・評価の流れについて

#### ①点検・評価シートを用いた評価の実施

事業・事務の成果を分析・検証するため、所管課が作成した点検・評価シートに基づき、学識経験者等の外部評価委員と各所管課がヒアリングを実施し、内部評価に対して客観的な意見を述べてもらいました。

#### ②具体的な評価の内容について

点検・評価シートを用いて事業の成果を測定するとともに課題を把握し、より良い事業の展開に向けた改善へとつなげていくため、以下の3つの評価項目について、5つの着眼点により評価を行いました。

##### ・評価項目等の一覧

評価項目	項目の説明	着眼点(各5点満点)
1	市民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業の必要性があるか、状況の変化に対応しているかを評価します。また、実施主体については、市が行うべき事業であるかを点検しました。	①市民ニーズや社会経済情勢の現状に適合しているか
		②実施主体は適切か
2	最も効果的な手法で事業が行われているか、また、その成果は十分に上がっているかを評価しました。	③目的に照らして効果的な手法であるか
		④成果が十分に上がっているか
3	成果に対してどの程度費用をかけているか、最小の経費で最大の効果を発揮しているか、また、そのバランスは適正かを評価しました。	⑤費用と成果のバランスは適正か

##### ・着眼点の評価

着眼点評価	着眼点に即した取組
5	十分できている
4	できている
3	ほぼできている
2	あまりできていない
1	できていない

#### ④点検・評価報告書の作成

評価項目の得点を合計し、100点満点に換算して、下記の総合評価のランクを参考に、複数の評価項目に関連するコメント、課題・問題点などについて総合的な評価を行い点検・評価シートを作成しました。

##### ・総合評価のランク

ランク	評価点	内容
A	86以上	優れた取組が多く、十分成果が上がっている
B	71～85	優れた取組があり、成果が上がっている
C	56～70	一定の成果は上がっているが課題もあり、改善が必要である
D	41～55	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、見直しが必要である。
E	40以下	成果がほとんど上がっておらず、廃止も含めた抜本的な見直しが必要である

## (2) 点検・評価報告書について

平成22年度は、次の17事業について点検・評価を行い、点検・評価報告書を作成するにあたっては、内部評価及び外部評価を含めた点検・評価シートを参考に作成しました。

### 点検・評価項目一覧

1. 私立幼稚園振興交付金
2. 確かな学力の向上を目指す教育の推進
3. 適応指導教室の運営事業
4. 心の教育推進事業
5. 安全安心な学校環境の整備
6. 高等教育の充実
7. 家庭教育支援の推進
8. 青少年活動の推進
9. 生涯学習活動の推進
10. 図書館活動の充実
11. 学校との連携による子どもの読書活動支援
12. 芸術文化の振興
13. 歴史的文化遺産の保存と活用
14. 博物館活動の充実①(美術自然史館・こども科学館)
15. 博物館活動の充実②(郷土館・森のかがく活動センター)
16. 生涯スポーツ・体づくりの推進
17. 競技スポーツ環境の充実及び支援

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成22年度	<b>事業番号</b>	1-1-1	<b>事業名</b>	私立幼稚園振興交付金
-------------	--------	-------------	-------	------------	------------

<b>目的</b>	心身に障害を有することにより特別な支援を要する幼児の幼稚園への就園を促進し、その心身の健全な発達を助長するとともに、幼稚園が特別支援幼児に対する正しい理解を深め積極的に特別支援教育を行うため。
<b>事業の内容</b>	市内に設置されている私立幼稚園のうち、下記特別支援幼児を受入れている幼稚園に交付する。 (1) 公的機関から障がい児の判定を受けている園児(重度)～111,000円/人 (2) 発達支援センターへ通所している園児(軽度)～27,000円/人
<b>事業の実績及び評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私立幼稚園振興交付金(重度) 道の補助金該当者3名を含め、対象者4名について、制度が活用された。</li> <li>・私立幼稚園振興交付金(軽度) 未就園者が7名いたが、対象者18名について制度が活用された。</li> <li>・幼稚園が特別支援幼児を受け入れることにより、健常児との一緒に生活の中で、子ども同士の助け合いや相互理解が芽生え、両方により影響を与えている。また、幼小連携により、幼稚園での教育をもとにスムーズに小学校への入学(特別支援学級)が行われている。</li> </ul>
<b>方向性</b>	本制度の保護者への説明と理解について、こども発達支援センターにも協力を仰ぎながら、保護者の理解がよりスムーズに得られるような方策について各幼稚園と協議が必要である。

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価着眼点		
	<b>B</b> (84)	<b>必要性</b>	5
5			実施主体は適切か(民間、国・道が実施すべき事業ではないか)
<b>有効性</b>		4	目的に照らして効果的な手法であるか。
		3	成果が十分に上がっているか。
<b>効率性</b>		4	費用と成果のバランスは適正か。

【評価点数】  
 5: 十分できている    4: できている    3: ほぼできている  
 2: あまりできていない    1: できていない

【総合評価ランク】

A : 86 点以上	優れた取組が多く、十分に成果が上がっている
B : 71～85 点	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
C : 56～70 点	一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある
D : 41～55 点	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である
E : 40 点以下	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成22年度	<b>事業番号</b>	1-2-1	<b>事業名</b>	確かな学力の向上を目指す教育の推進
-------------	--------	-------------	-------	------------	-------------------

<b>事業の目的</b>	児童・生徒に基礎基本を確実に定着させ、個に応じたきめ細かな学習指導の取り組みを推進する。
<b>事業の内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数指導(チームティーチング)の実践を通じて指導方法の工夫改善に取り組む。</li> <li>・少人数学級実践事業(小2年～4年生・中1年生 35人学級)と学校サポート事業(学びサポーター配置)を通じて、個別の児童生徒への学習指導と支援を行う。</li> <li>・標準学力検査や全国学力状況調査を実施し、学力の実態の把握と学習指導の改善向上を図る。</li> </ul>
<b>事業の実績及び評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びサポーターを全小中学校に配置し、児童生徒のきめ細かな見守りと学びの支援や教育相談体制の充実強化を図った。</li> <li>・35人学級については、きめ細かな指導をとおして、子どもたちの発表の機会が増えるとともに、先生と向き合う場面が増え、個に応じた指導の充実を図ることができた。</li> </ul>
<b>取組みの方向性等</b>	学力向上プランに掲げた学習課題の改善に向け、効果的な施策や教職員の研修機会の充実が必要である。特に標準偏差ポイントの減少対策として、習熟度別指導など指導方法の改善を行い、学力の底上げが必要である。

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価着眼点		
	<b>B</b> (84)	<b>必要性</b>	5
5			実施主体は適切か(民間、国・道が実施すべき事業ではないか)
<b>有効性</b>		4	目的に照らして効果的な手法であるか。
		3	成果が十分に上がっているか。
<b>効率性</b>		4	費用と成果のバランスは適正か。

【評価点数】

5:十分できている 4:できている 3:ほぼできている  
2:あまりできていない 1:できていない

【総合評価ランク】

A : 86 点以上 優れた取組が多く、十分に成果が上がっている  
 B : 71～85 点 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている  
 C : 56～70 点 一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある  
 D : 41～55 点 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である  
 E : 40 点以下 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成22年度	<b>事業番号</b>	1-2-2	<b>事業名</b>	適応指導教室の運営事業
-------------	--------	-------------	-------	------------	-------------

<b>事業の目的</b>	不登校児童・生徒の学校復帰を図るための指導と支援を行う。
<b>事業の内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通級者に学習意欲や進路目標を持たせ、規則正しい生活習慣の定着と自信の回復を図る。</li> <li>・不登校など悩みや不安を抱えた子どもとその保護者との教育相談の実施。</li> <li>・指導員・SSWによる指導・相談と併せて学校訪問を行い、不登校の早期対応への行動連携の実施。</li> </ul>
<b>事業の実績及び評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校者数 H20…42人 H21…52人 H22…46人 21年度が大幅増であったため、原因調査など学校と情報共有を深め減少できた。</li> <li>・適応指導教室通級者からの学校復帰者数 ※( )は完全復帰者数 H20…6人(0人) H21…12人(6人) H22…8人(2人)</li> <li>・指導する施設の事情から午前中指導となっているが、きめ細かな指導支援ができた。高校受験期の生徒が全員高校進学を果たした。</li> </ul>
<b>取組みの方向性等</b>	24年8月に移転して、専用教室・相談室などを完備することから、課題となっている午後指導の拡大や情報ツールを活用した在宅指導など、個別の実態に応じたきめ細かな指導の充実を図る。

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価着眼点		
	<b>A</b> (88)	<b>必要性</b>	5
5			実施主体は適切か(民間、国・道が実施すべき事業ではないか)
<b>有効性</b>		4	目的に照らして効果的な手法であるか。
		4	成果が十分に上がっているか。
<b>効率性</b>		4	費用と成果のバランスは適正か。

【評価点数】  
5:十分できている 4:できている 3:ほほどできている  
2:あまりできていない 1:できていない

【総合評価ランク】  
A : 86 点以上 優れた取組が多く、十分に成果が上がっている  
B : 71~85 点 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている  
C : 56~70 点 一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある  
D : 41~55 点 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である  
E : 40 点以下 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成22年度	<b>事業番号</b>	1-2-3	<b>事業名</b>	心の教育推進事業
-------------	--------	-------------	-------	------------	----------

<b>事業の目的</b>	いじめのない学校づくりやいじめを許さない児童生徒の取り組みを推進するとともに、学校におけるいじめなど問題行動への早期発見・早期対応への取り組みの支援を行う。
<b>事業の内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談体制の充実～スクールカウンセラー・ソーシャルワーカーの配置、学びサポーターの全校配置</li> <li>・いじめアンケートの実施に併せて、個別の教育相談をとおして実態把握を行う。</li> <li>・道徳教育推進事業の充実(2か年事業の2年目)</li> </ul>
<b>事業の実績及び評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「たきかわ子ども会議2010」を開催し、児童会・生徒会によるいじめのない学校をつくるための取組みの交流を図った。</li> <li>・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置を通じて、問題行動のある子どもの実態把握を学校現場と情報共有して課題解決に取り組んだ。</li> </ul>
<b>取組みの方向性等</b>	子どもの教育相談や教職員との情報共有を密にして、問題行動に早期対応する体制の充実を図る。

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価着眼点		
	<b>A</b> (88)	<b>必要性</b>	4
5			実施主体は適切か(民間、国・道が実施すべき事業ではないか)
<b>有効性</b>		5	目的に照らして効果的な手法であるか。
		4	成果が十分に上がっているか。
<b>効率性</b>		4	費用と成果のバランスは適正か。

【評価点数】

5:十分できている 4:できている 3:ほぼできている  
2:あまりできていない 1:できていない

【総合評価ランク】

A : 86 点以上	優れた取組が多く、十分に成果が上がっている
B : 71～85 点	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
C : 56～70 点	一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある
D : 41～55 点	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である
E : 40 点以下	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成22年度	<b>事業番号</b>	1-2-4	<b>事業名</b>	安全安心な学校環境の整備
-------------	--------	-------------	-------	------------	--------------

<b>目的</b>	学校施設は、児童・生徒が一日の大半を過ごす学習、生活の場であるとともに、災害時には地域の避難場所でもあることから、安全で快適な教育環境の整備・充実を図る。
<b>事業の内容</b>	・平成18・19年度行った第二次耐震診断の結果に基づき、耐震補強工事を行い、平成27年度までに耐震化率100を達成するとともに、併せてトイレのエコ改修等の整備を行う。また、不審者情報の増加に伴い、児童の登下校を知らせるシステムの利用により保護者の不安を緩和する。
<b>事業の実績及び評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震補強工事(耐震化率 48%) 滝川第一小学校、江部乙中学校耐震補強工事等、東小学校耐震補強実施設計耐震補強工事と併せて、トイレ改修や屋根改修を行うことにより、コスト削減に努めた。</li> <li>・トイレ改修(エコ改修率 26%) 滝川第一小学校、江部乙小学校、明苑中学校、江部乙中学校トイレ改修工事</li> <li>・児童見守りシステムの利用(ICタグサービス 利用率 47%) 対象児童数(小1～小3) 1,047人 利用者 489人</li> </ul>
<b>方向性</b>	平成22年2月に策定した「滝川市小・中学校施設整備方針」に基づき、計画的・効率的に耐震化工事や改築・大規模改修を行い、平成27年度までに全小中学校施設の耐震化を完了する。児童見守りシステムについては、ICタグサービスの利用率の向上を図る。

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価着眼点		
	<b>B</b> (84)	<b>必要性</b>	4
5			実施主体は適切か(民間、国・道が実施すべき事業ではないか)
<b>有効性</b>		4	目的に照らして効果的な手法であるか。
		4	成果が十分に上がっているか。
<b>効率性</b>		4	費用と成果のバランスは適正か。

【評価点数】  
5:十分できている 4:できている 3:ほぼできている  
2:あまりできていない 1:できていない

【総合評価ランク】

A : 86 点以上	優れた取組が多く、十分に成果が上がっている
B : 71～85 点	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
C : 56～70 点	一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指すことが必要である
D : 41～55 点	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である
E : 40 点以下	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である



## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成22年度	<b>事業番号</b>	1-3-1	<b>事業名</b>	高等学校教育の充実
-------------	--------	-------------	-------	------------	-----------

<b>事業の目的</b>	自主的精神に充ち、健康で旺盛な実践力に富む人間形成に努め、高い知性と創造力を育む能力開発を進め「特色ある学校」、「選ばれる学校」を目指す。
<b>事業の内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サテライト講習及び一般講習の実施</li> <li>・進路カルテの活用</li> <li>・少人数指導とTTによる授業</li> </ul>
<b>事業の実績及び評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の全国大会出場状況 H20…文科系 2人 体育系 3人 H21…文科系 2人 体育系 1人 H22…文科系 2人 体育系 2人</li> <li>・短期大学以上の進学率(専門学校等を除く) H19…35% H20…42% H21…38% H22…45%</li> <li>・就職希望者の就職率 H19…96% H20…97% H21…97% H22…100%</li> <li>・小樽商大など国公立大に16名、私大に75名、短大に29名の合格者を出した。</li> <li>・インターンシップの実施や幾度もの面接練習等、就職に向けての早期からの進路指導が就職希望者52名全員の就職につながった。</li> </ul>
<b>事業の課題等 取組みの方向性</b>	新学習指導要領の主旨を踏まえ、学科の特色を生かした創意ある教育課程の編成・実施に努める。

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価着眼点		
	<b>B</b> (80)	<b>必要性</b>	4
4			実施主体は適切か(民間、国・道が実施すべき事業ではないか)
<b>有効性</b>		4	目的に照らして効果的な手法であるか。
		4	成果が十分に上がっているか。
<b>効率性</b>		4	費用と成果のバランスは適正か。

**【評価点数】**

5:十分できている 4:できている 3:ほぼできている  
2:あまりできていない 1:できていない

**【総合評価ランク】**

A : 86 点以上 優れた取組が多く、十分に成果が上がっている  
 B : 71～85 点 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている  
 C : 56～70 点 一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある  
 D : 41～55 点 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である  
 E : 40 点以下 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成22年度	<b>事業番号</b>	2-1-1	<b>事業名</b>	家庭教育支援の推進
-------------	--------	-------------	-------	------------	-----------

<b>事業の目的</b>	滝川市家庭教育支援連絡協議会を中心に、基本的な生活習慣や生活能力、自制心や自立心、豊かな情操、他人に対する思いやり、善悪の判断などの基本的倫理観、社会的マナーなどの基礎を子どもたちに育むことを目的とする。
<b>事業の内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「早寝・早起き・朝ごはん」など生活習慣の徹底にかかる啓発</li> <li>・「我が家のマナー」の募集と普及</li> </ul>
<b>事業の実績及び評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早寝ができていない小学生 H21…37.4% H22…40.9%</li> <li>・早起きができていない小学生 H21…57.3% H22…57.4%</li> <li>・毎日朝食を食べていない小学生 H21…37.4% H22…40.9%</li> </ul> <p>・「我が家のマナー」15選を掲載し、全小中学校の児童・生徒に配布。学校に標語紙を掲示した。基本的な「早寝・早起き・朝ごはん」の達成数値が上がっており、今後も継続的な啓発活動が必要。</p> <p>・家庭教育に関わる団体等が参加して組織した「滝川市家庭教育支援連絡協議会」が主体となることで、幅広い視点での議論がなされ、具体的な事業につながった。</p>
<b>事業の課題等 取組みの方向性</b>	<p>文部科学省の委託事業「訪問型家庭教育相談体制充実事業」が終了し、事務局体制も大幅に縮減となった。</p> <p>「家庭教育」だけを単独で取り上げるのではなく、他の事業と抱き合わせるなど、組織や周知方法について検討し、効率的で持続可能な「家庭教育支援事業」の取組みに向かう。</p>

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価着眼点		
	<b>B</b> (72)	<b>必要性</b>	4
4			実施主体は適切か(民間、国・道が実施すべき事業ではないか)
<b>有効性</b>		4	目的に照らして効果的な手法であるか。
		3	成果が十分に上がっているか。
<b>効率性</b>		3	費用と成果のバランスは適正か。

【評価点数】  
5:十分できている 4:できている 3:ほぼできている  
2:あまりできていない 1:できていない

【総合評価ランク】

A : 86 点以上	優れた取組が多く、十分に成果が上がっている
B : 71～85 点	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
C : 56～70 点	一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある
D : 41～55 点	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である
E : 40 点以下	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成22年度	<b>事業番号</b>	2-1-2	<b>事業名</b>	青少年活動の推進
-------------	--------	-------------	-------	------------	----------

<b>事業の目的</b>	青少年の各成長段階に応じた各種学習機会の提供、発表や活躍の場の創出、青少年育成活動や事業へのサポート等を通じて、青少年に豊かな社会性と人間性を育むことを目的とする。
<b>事業の内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの元気応援団等の支援による滝川遊学会事業の実施</li> <li>・青少年育成関係団体の育成、支援および連携を図った事業の充実</li> <li>・勤労青少年ホームを拠点とした青年活動の支援</li> </ul>
<b>事業の実績及び評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滝川遊学会・元気に遊ぼうの参加者 H19…176人 H20…148人 H21…258人 H22…257人</li> <li>・奨励事業補助金額 H19…443千円 H20…640千円 H21…463千円 H22…629千円</li> <li>・青少年健全育成を進めるための手法として、事業奨励補助金制度を活用して地域で積極的な育成活動の取り組みが見られ一定の成果は見られたが、単発の事業費補助の要素が強く、より効果的な活用について検討が必要。</li> </ul>
<b>取組みの方向性等</b>	<p>「滝川遊学会」は、構成団体がそれぞれ事業を実施していることから「滝川遊学会」という組織・冠が必要なのか再考し、わかりやすい事業体系をつくる。</p> <p>児童・生徒を対象とした事業について、児童館や団体とも連携し、一括して情報をまとめ、発信する体制の整備を行う。</p> <p>青年活動については、青年同士のネットワークを重点に時代を見据えた手法で個々をつなぎ、情報交換のなかから行動が生まれる取り組みを柱に進めていく。</p>

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価着眼点		
	<b>C</b> (68)	必要性	4
4			実施主体は適切か(民間、国・道が実施すべき事業ではないか)
有効性		3	目的に照らして効果的な手法であるか。
		3	成果が十分に上がっているか。
効率性		3	費用と成果のバランスは適正か。

【評価点数】  
5: 十分できている 4: できている 3: ほぼできている  
2: あまりできていない 1: できていない

【総合評価ランク】

A : 86 点以上	優れた取組が多く、十分に成果が上がっている
B : 71～85 点	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
C : 56～70 点	一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある
D : 41～55 点	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である
E : 40 点以下	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成22年度	<b>事業番号</b>	2-1-3	<b>事業名</b>	生涯学習活動の推進
-------------	--------	-------------	-------	------------	-----------

<b>事業の目的</b>	生涯を通じて、健やかに充実した生活を送るために、いつでも、どこでも自由に学習機会を選択し、豊かに学び、文化に親しみ、スポーツを楽しむことができるような基盤整備をするとともに、学んだ成果を生かして社会の中で自己実現を図ることができる生涯学習社会の構築を目的とする。
<b>事業の内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福寿大学の運営</li> <li>・公民館事業の実施（公民館まつり・カラオケ発表会）</li> <li>・グループ・サークル活動の支援（グループ・サークル一覧の作成、活動に関する相談・支援）</li> </ul>
<b>事業の実績及び評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急激な社会構造の変化に伴う価値観や行動様式の変化により、住民の学習ニーズが多様化・高度化するなか、福寿大学や公民館を活用してのサークル活動のほか、リブレーションや國學院大學北海道短期大学部等が実施する学習機会の提供により、市民のニーズに応えた。</li> <li>・市予算のほか、福寿大学祭では、学生の会費や大学祭のバザー収入を、公民館まつり・カラオケ発表会についても実行委員会形式による自主的な財源確保に取り組んでおり経費節減に努めた。</li> </ul>
<b>事業の課題等 取組みの方向性</b>	<p>福寿大学の対象者が増えているにも関わらず、新たな加入がない。学習活動が困難だった世代から、高等教育を受けてきた世代が福寿大学の対象者となってきた。自主的な大学運営を目指すためにも大幅なカリキュラムの見直しが必要。</p> <p>グループ・サークル活動などの基本情報をインターネット等を活用して積極的に発信し、「学びのある生活」の支援強化を図る。</p>

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価着眼点		
	<b>B</b> (76)	<b>必要性</b>	4
4			実施主体は適切か（民間、国・道が実施すべき事業ではないか）
<b>有効性</b>		3	目的に照らして効果的な手法であるか。
		4	成果が十分に上がっているか。
<b>効率性</b>		4	費用と成果のバランスは適正か。

【評価点数】  
5:十分できている 4:できている 3:ほぼできている  
2:あまりできていない 1:できていない

【総合評価ランク】

A : 86 点以上	優れた取組が多く、十分に成果が上がっている
B : 71～85 点	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
C : 56～70 点	一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある
D : 41～55 点	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である
E : 40 点以下	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成22年度	<b>事業番号</b>	2-2-1	<b>事業名</b>	図書館活動の充実
-------------	--------	-------------	-------	------------	----------

<b>事業の目的</b>	<p>庁舎内への図書館移転に向けて、地の利を活かした街なかや病院、学校、地域等との連携した事業活動の展開や活用向上調査事業として、利便性の向上と利用の拡大を図るため、市民や利用者へのニーズ調査(アンケート)の実施、実証実験に用いる検索システムの構築を進め、市民や利用者のニーズを反映させた施設環境の整備や利用の利便性を高め、より気軽に活用され、課題解決に役立つ図書館を目指す。</p>
<b>事業の内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活用向上調査事業～市民や利用者を対象としたニーズ調査(アンケート)と分析、実証実験に用いる検索システム用データセットアップ</li> <li>・図書館移転実施設計～施設環境の整備</li> <li>・読書普及事業～市民読書年として市民からのおすすめの本の紹介、地域との連携し、新たな読書コミュニティ形成モデルとして地域文庫を設置</li> <li>・絵本作家による絵本ライブ、アナウンサーによる童話朗読会・ワークショップの開催</li> <li>・まごころ本箱はこぶっく(子ども版)による団体貸出</li> </ul>
<b>事業の実績及び評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸出冊数(学校との連携事業を除く) H19…109,076冊 H20…108,963冊 H21…105,427冊 H22…101,413冊</li> <li>・登録者数(個人) H19…4,236人 H20…4,043人 H21…3,958人 H22…3,812人</li> <li>・入館者数(本館) H19…41,045人 H20…39,052人 H21…37,536人 H22…36,864人</li> </ul> <p>市民読書年として市民からのおすすめ本の紹介や絵本作家の講演会、プロのアナウンサーによる朗読会などの読書普及に取り組んだが、登録者、入館者、貸出冊数の増加にはつながらなかった。新図書館に向けて、新たな読書コミュニティの形成モデルとして2ヶ所に地域文庫の設置とまごころ本箱はこぶっく事業として団体貸出をモデル的に実施した。</p>
<b>方等取組性の課題</b>	<p>新図書館として、まちなかの地の利を活かした連携事業の展開とニーズ調査の結果を反映した館内環境の整備と新刊図書等の資料の充実を図り、利用者の拡大と利用者サービスの向上に取り組む。</p>

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価着眼点		
	<b>B</b> (72)	<b>必要性</b>	3
4			実施主体は適切か(民間、国・道が実施すべき事業ではないか)
<b>有効性</b>		4	目的に照らして効果的な手法であるか。
		4	成果が十分に上がっているか。
<b>効率性</b>		3	費用と成果のバランスは適正か。

【評価点数】  
5:十分できている 4:できている 3:ほぼできている  
2:あまりできていない 1:できていない

【総合評価ランク】

A : 86 点以上	優れた取組が多く、十分に成果が上がっている
B : 71～85 点	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
C : 56～70 点	一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある
D : 41～55 点	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である
E : 40 点以下	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成22年度	<b>事業番号</b>	2-2-2	<b>事業名</b>	学校との連携による子どもの読書活動支援
-------------	--------	-------------	-------	------------	---------------------

<b>事業の目的</b>	学校との連携を図り、多くの子どもたちに身近な場所で本に触れる環境を整備し、本への興味と読書意欲を高められるようなきっかけをつくり、子どもの読書活動の推進と読書の習慣化を目指す。
<b>事業の内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸出事業～学校巡回文庫、貸出文庫(学級・学年単位)</li> <li>・読書推進事業～図書館訪問、連絡会議、おすすめの本の紹介、読書アルバムの配布</li> </ul>
<b>事業の実績及び評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童1人当たりの利用冊数 H19…12.7冊 H20…15.1冊 H21…15.7冊 H22…9.3冊</li> <li>・読書アルバム100冊達成数 H19…142人 H20…158人 H21…301人 H22…145人</li> <li>・子どもの読書活動を支援するために、貸出文庫や学校巡回文庫等により、身近な場所で読書できる環境の整備や市民読書年としてお友だちにすすめたい本を募集し、紹介の本の冊子配布をはじめ、おすすめ本のチラシ、読書アルバムを配布し、読書への興味や意欲が高められるよう継続して取り組み、貸出文庫の登録数も増加した。</li> <li>・子どもたちが身近な場所で読書できる環境整備が徐々に進み、学級内で使用する貸出文庫の登録数も増加傾向にあることや今年度は蔵書のデータ化作業により、十分な貸出ができず、成果としては十分ではなかったが、1000冊を読破した児童が2名になり、読書の習慣化が徐々に浸透しつつある。</li> </ul>
<b>取組みの方向性等</b>	子どもたちの読書環境の整備として、図書館の充実と子どもと本とをつなぐことができるように、図書館学級文庫(新規)によるモデル的な貸出や学校司書等の配置、将来に向けた学校図書館とのネットワーク化の検討が必要である。

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価着眼点		
	<b>B</b> (76)	<b>必要性</b>	4
4			実施主体は適切か(民間、国・道が実施すべき事業ではないか)
<b>有効性</b>		4	目的に照らして効果的な手法であるか。
		3	成果が十分に上がっているか。
<b>効率性</b>		4	費用と成果のバランスは適正か。

【評価点数】  
5:十分できている 4:できている 3:ほぼできている  
2:あまりできていない 1:できていない

【総合評価ランク】

A : 86 点以上	優れた取組が多く、十分に成果が上がっている
B : 71～85 点	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
C : 56～70 点	一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある
D : 41～55 点	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である
E : 40 点以下	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成22年度	<b>事業番号</b>	3-1-1	<b>事業名</b>	芸術文化の振興
-------------	--------	-------------	-------	------------	---------

<b>事業の目的</b>	個性ある豊かな地域文化の実現と環境づくりのため、質の高い文化芸術を鑑賞する機会の拡大を図るとともに、地域文化活動を担う人材育成事業を展開し、子どもたちの誇りとなる芸術文化活動への環境を整備する。
<b>事業の内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「たきかわ文化村推進委員会」事業補助(ロビーコンサート、4つのワークショップ、成果発表)</li> <li>・第15回「風がみつけた街」たきかわ音楽祭の支援(コスモス、プラタナス、アップルコンサート)</li> <li>・演劇公演事業(「華々しき一族」滝川公演、松竹大歌舞伎滝川公演)・学校等でのアウトリーチ事業の支援(おんかつ支援アウトリーチ→第二小、江部乙中、開西中、明苑中)</li> <li>・陶芸センターの充実した講座の運営と陶芸センターまつりの支援(陶工房の設立、協働による陶芸センターまつりの開催)</li> </ul>
<b>事業の実績及び評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たきかわ文化村推進事業参加者数 H19…463人 H20…347人 H21…262人 H22…426人 さまざまな表現活動の講座を実施した。対象年齢も幅広く、継続が期待されるプログラムもできた。</li> <li>・風がみつけた街たきかわ音楽祭来場者数 H19…890人 H20…687人 H21…869人 H22…1,150人 運営もスムーズに行われ、教育音楽祭としての実績を重ねている。また、市民主体の音楽祭として定着している。</li> <li>・各種事業は、各種団体の補助金や助成等を受けながら実施し、官民協働による文化芸術施策を進めることができた。</li> </ul>
<b>事業の課題等</b>	<p>陶芸センターは、滝川市では初めての民間への無償貸与での運営を目指している。行政・団体の情報共有と理解を図るための調整に取り組む。</p> <p>芸術鑑賞等事業については、更に積極的な取り組みを進めていく。</p> <p>施設の耐震化・老朽化による改修が早急に求められている。限られた財源で、どう施設を維持していくのか、市民意見を調整しながら方向性を決めることが必要。</p>

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価着眼点		
	<b>A</b> (88)	必要性	4
5			実施主体は適切か(民間、国・道が実施すべき事業ではないか)
有効性		4	目的に照らして効果的な手法であるか。
		5	成果が十分に上がっているか。
効率性		4	費用と成果のバランスは適正か。

**【評価点数】**

5:十分できている 4:できている 3:ほぼできている  
2:あまりできていない 1:できていない

**【総合評価ランク】**

A : 86 点以上	優れた取組が多く、十分に成果が上がっている
B : 71~85 点	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
C : 56~70 点	一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指すことが必要である
D : 41~55 点	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である
E : 40 点以下	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成22年度	<b>事業番号</b>	3-1-2	<b>事業名</b>	歴史的文化遺産の保存と活用
-------------	--------	-------------	-------	------------	---------------

<b>事業の目的</b>	歴史的建造物及び史跡標柱の整備を進め、保存及び活用に取り組むとともに、歴史的文化遺産の周知をはかり、地域の歴史や自然など魅力の再発見に努める。
<b>事業の内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保護審議会の開催と新たな文化財の指定への取り組み(2回の審議会を開催し答申を受け、教育委員会第7号の文化財指定)</li> <li>・岩橋ふるさと北辰桜並木事業(桜サポーター募集、桜見学バスツアーの開催、並木整備、アートカフェ開催)</li> <li>・文化財マップを活かした文化遺産の広報(歴史見学バスツアー開催参加者24人)</li> <li>・たきかわカルタの制作・活用(制作市民会議の設立、5回の会議、754人の応募者、1890作品の応募、完成発表会の開催)</li> </ul>
<b>事業の実績及び評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定文化財としては初めて民間所有の「太郎吉蔵」の指定を行った。</li> <li>・桜並木造成事業は、岩橋ふるさと北辰振興会及び桜サポーターの自主活動によって「北辰の森」造成はほぼ完成近づくとともに、江部乙地域の魅力を発信する事業が行われるなど、市民活動の活性化につながった。</li> <li>・たきかわカルタの制作には多くの市民が関わり、好評を得た。滝川市の紹介にとどまらず、滝川市の歴史文化を学ぶ資料としての価値も付加されるものとなった。</li> </ul>
<b>取組みの方向性等</b>	<p>指定文化財の積極的な活用。</p> <p>史跡標柱の整備と指定文化財の補修修繕の課題。</p> <p>桜並木造成事業に関連した岩橋英遠ブランド化(作品+景観+活動)への取り組み及び岩橋ミュージアム構想へ向けた検討。</p>

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価着眼点		
	<b>A</b> (88)	<b>必要性</b>	4
4			実施主体は適切か(民間、国・道が実施すべき事業ではないか)
<b>有効性</b>		5	目的に照らして効果的な手法であるか。
		4	成果が十分に上がっているか。
<b>効率性</b>		5	費用と成果のバランスは適正か。

【評価点数】

5:十分できている 4:できている 3:ほぼできている  
2:あまりできていない 1:できていない

【総合評価ランク】

- |             |                                         |
|-------------|-----------------------------------------|
| A : 86 点以上  | 優れた取組が多く、十分に成果が上がっている                   |
| B : 71~85 点 | 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている                  |
| C : 56~70 点 | 一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある |
| D : 41~55 点 | 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である      |
| E : 40 点以下  | 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である            |



## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成22年度	<b>事業番号</b>	3-1-3	<b>事業名</b>	博物館活動の充実①(美術自然史館・こども科学館)
-------------	--------	-------------	-------	------------	--------------------------

<b>事業の目的</b>	<p>芸術文化の創造活動、そして地球と生命を学ぶ拠点である「美術自然史館」、こどもの科学する心を育む拠点である「こども科学館」を活性化することで、新たな経済的・社会的価値を創出し、「創造文化のまち」の実現と教育・文化力の向上を図る。特に何度も博物館に足を運び、博物館活動に理解を深めてもらうための工夫や取り組みに重点を置いた。</p>
<b>事業の内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術鑑賞事業: 企画展(4回)、ロビーコンサート7回</li> <li>・芸術体験事業: 講座、ワークショップ等</li> <li>・成果発表の場の提供: 貸館8件</li> <li>・科学する心を育む活動: 科学実験(4回)、科学工作(4回)、科学教室(1回)、出前講座(3回)</li> <li>・博物館くらぶ: 会員111人、オリジナル事業2回、市民運営委員会3回</li> <li>・年間パスポート(3年目)</li> </ul>
<b>事業の実績及び評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間パスポート発行数 H20…487枚 H21…749枚 H21…1,085枚</li> <li>・子どもたちに人気のある化石展など魅力ある企画展を開催すれば親子連れをはじめとする多くの入場者数が期待できるが、公の館としては様々な分野の展示(活動)を行う必要があり、今後さらに博物館活動への関心を高めていく取り組みが必要である。</li> <li>・導入3年目の年間パスポート発行効果などで、入館料を増加することが出来た。また、経費のかかる企画展には、補助金を有効に活用することで、効率的な博物館の運営が出来た。</li> </ul>
<b>事業の課題等 取組みの方向性</b>	<p>事業の継続を行い、より市民に親しまれる博物館活動を行う。また、博物館くらぶや専門性の高い団体との連携を継続する中で事業内容の拡充に努める。さらに、情報提供の充実を図り、博物館としての話題性を高めることにより、これまで美術自然史館やこども科学館を訪れたことのない人へアピールを図る。特に、学校等に直接DM等による来館の呼び掛けを行うなど入館者増へつながる仕掛けを行っていきたい。</p>

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価着眼点		
	<b>B</b> (76)	<b>必要性</b>	4
4			実施主体は適切か(民間、国・道が実施すべき事業ではないか)
<b>有効性</b>		4	目的に照らして効果的な手法であるか。
		3	成果が十分に上がっているか。
<b>効率性</b>		4	費用と成果のバランスは適正か。

**【評価点数】**

5: 十分できている 4: できている 3: ほぼできている  
2: あまりできていない 1: できていない

**【総合評価ランク】**

- |           |                                         |
|-----------|-----------------------------------------|
| A: 86点以上  | 優れた取組が多く、十分に成果が上がっている                   |
| B: 71~85点 | 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている                  |
| C: 56~70点 | 一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある |
| D: 41~55点 | 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である      |
| E: 40点以下  | 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である            |

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成22年度	<b>事業番号</b>	3-1-4	<b>事業名</b>	博物館活動の充実②(郷土館・森のかがく活動センター)
-------------	--------	-------------	-------	------------	----------------------------

<b>事業の目的</b>	歴史的文化遺産保存・研究の拠点である「郷土館」、人と自然をつなぐ拠点「森のかがく活動センター」を活性化させることで、新たな経済的・社会的価値を創出し、「創造文化のまち」実現と教育・文化力の向上を図る。
<b>事業の内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土館収蔵物の展示、整理</li> <li>・滝川開村120年記念・滝川市郷土館リニューアル事業「鉄道と滝川展」</li> <li>・郷土館めぐり</li> <li>・移動郷土館～「く・る・るdeレトロ 昭和～あの頃の道具たち～」、第2小での「たきかわ開拓のものがたり」</li> </ul>
<b>事業の実績及び評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土館入場者数 H19…1,227人 H20…1,120人 H21…1,423人 H22…1,137人</li> <li>・郷土館の入館者は減ったものの、移動郷土館の実施により郷土資料に触れた市民は多かったものと思われる。</li> <li>・滝川市の歴史や文化を後世に伝えるため、市民の協力を得ながら資料収集に努めている。平成22年度も4人から計56点もの貴重な資料を寄贈いただいた。企画した「鉄道と滝川展」にちなんで鉄道に関する資料もいただき、事業を通じて市民呼びかけることも重要である。</li> <li>・森のかがく活動センターの運営体制は行政パートナーを導入して効率的な施設の運営に努めた。</li> </ul>
<b>取組みの方向性 事業の課題等</b>	郷土館に収蔵する資料を活用して、移動郷土館等館外での展示活動を行うことにより、多くの市民(子どもたち)に郷土資料に触れる機会を作り、郷土館に足を運んでいただけるきっかけ作りとなる企画を展開していく。また、森のかがく活動センターにおいては、夏休期間中での木工工作等の子ども向け事業を継続していく。

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価着眼点		
	<b>C</b> (68)	<b>必要性</b>	4
3			実施主体は適切か(民間、国・道が実施すべき事業ではないか)
<b>有効性</b>		4	目的に照らして効果的な手法であるか。
		3	成果が十分に上がっているか。
<b>効率性</b>		3	費用と成果のバランスは適正か。

【評価点数】  
5: 十分できている 4: できている 3: ほぼできている  
2: あまりできていない 1: できていない

【総合評価ランク】

A: 86点以上	優れた取組が多く、十分に成果が上がっている
B: 71～85点	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
C: 56～70点	一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある
D: 41～55点	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である
E: 40点以下	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成22年度	<b>事業番号</b>	4-1-1	<b>事業名</b>	生涯スポーツ・体づくりの推進
-------------	--------	-------------	-------	------------	----------------

<b>事業の目的</b>	各種スポーツイベントの推進、健康・体づくりの充実化、各種施設の管理と有効活用を図り、「市民一人一スポーツ」推進のために、(財)滝川市体育協会並びにその加盟団体と連携し、スポーツ施設の効率的な運営管理とサービス向上を図ることを目的とする。
<b>事業の内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種スポーツ教室の開催(エアロビクス・ヨガ・幼児運動・水泳・スケート・スキー等)</li> <li>・各種スポーツイベントの開催(コスモスマラソン・スノーレク・スポーツ塾・体力チェック等)</li> <li>・(財)滝川市体育協会加盟団体による各種スポーツの実施・普及の支援</li> <li>・パンフレットの作成や広報誌などによるPRを行い健康増進を図る機会の提供</li> </ul>
<b>事業の実績及び評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コスモスマラソン市民参加者数 H19…105人 H20…139人 H21…157人 H22…149人</li> <li>・生活習慣病予防や運動不足解消など健康が重視される中、体育協会や体育指導委員(平成23年8月24日スポーツ推進委員と改正)、総合型地域スポーツクラブなどと連携を図り、いつでも誰でも気軽にできるスポーツ教室やスポーツイベントを開催し、市民の健康増進を図る機会を提供した。</li> <li>・コスモスマラソンは、年々参加者数が増加しており、市民団体のボランティア参加も根付いてきた。しかし、市民ランナーの参加増が課題である。(市内小中高校生の参加呼びかけ等の検討が必要である。)</li> </ul>
<b>取組みの方向性</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなスポーツ教室の開催による会員増や利用者増を図る。</li> <li>・コスモスマラソンの市民参加増の工夫が必要である。</li> </ul>

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価着眼点		
	<b>B</b> (84)	<b>必要性</b>	4
5			実施主体は適切か(民間、国・道が実施すべき事業ではないか)
<b>有効性</b>		4	目的に照らして効果的な手法であるか。
		4	成果が十分に上がっているか。
<b>効率性</b>	4	費用と成果のバランスは適正か。	

【評価点数】  
5: 十分できている 4: できている 3: ほぼできている  
2: あまりできていない 1: できていない

【総合評価ランク】

A: 86点以上	優れた取組が多く、十分に成果が上がっている
B: 71~85点	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
C: 56~70点	一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある
D: 41~55点	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である
E: 40点以下	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成22年度	<b>事業番号</b>	4-1-2	<b>事業名</b>	競技スポーツ環境の充実及び支援
-------------	--------	-------------	-------	------------	-----------------

<b>事業の目的</b>	各種スポーツイベントの推進、各種施設の管理と有効活用を図るほか、スポーツ著名人による実技研修会の開催や各スポーツ全道・全国大会の誘致により、一流選手のプレーを間近に観ることや、競技等に参加することで、競技力向上や競技スポーツへの興味・関心を高める機会を提供し、各種スポーツ人口の拡大を図ることを目的とする。
<b>事業の内容</b>	<p>○トップアスリートを招待し、北海道室内棒高跳大会を7回継続を計画をしたが、東北地震で中止となった。</p> <p>○北海道中学校軟式野球大会を平成16年度から7回継続開催した。</p> <p>○施設の老朽化により、市営球場や青年体育センター設備等の改修を行った。</p> <p>○全国・全道規模の大会開催及び選手の出場について、関係団体と連携を図った。</p>
<b>事業の実績及び評価</b>	<p>・体育協会及び加盟団体等と連携し、全道大会を12大会開催してトップレベルのプレーを観戦する機会を市民に提供した。</p> <p>・全道・全国大会開催数 H19…14回 H20…12回 H21…12回 H22…12回</p> <p>・市営球場のスコアボード設備機器改修や青年体育センターのバスケットゴール改修などの整備を行った。</p> <p>・小学生から高校生では、野球、弓道、水泳、バドミントン、少林寺拳法の5競技で9組が全国大会に出場した。</p> <p>・一般では、朝野球、カヌー、全国障害者スポーツ大会の3競技で3組が全国大会に出場した。</p> <p>・少年野球はジュニアドラゴンズが北日本大会で優勝、全国障害者スポーツ大会では、43歳女性が銅メダルを受賞した。</p> <p>・スポーツフェスティバルでは、オリンピックの柔道金メダリスト上野雅恵選手を招待し、柔道選手及び指導者との交流を図った。</p>
<b>取組みの方向性 事業の課題等</b>	<p>・各スポーツ団体と連携した全国・全道大会に出場できる選手の指導・育成を行う。</p> <p>・各スポーツ施設及び設備の年次計画的改修を行い、スポーツ環境の整備改善を図る。</p>

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価着眼点		
	B (84)	必要性	5
4			実施主体は適切か(民間、国・道が実施すべき事業ではないか)
有効性		4	目的に照らして効果的な手法であるか。
		4	成果が十分に上がっているか。
効率性	4	費用と成果のバランスは適正か。	

【評価点数】

5:十分できている 4:できている 3:ほぼできている  
2:あまりできていない 1:できていない

【総合評価ランク】

A : 86 点以上	優れた取組が多く、十分に成果が上がっている
B : 71~85 点	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
C : 56~70 点	一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある
D : 41~55 点	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である
E : 40 点以下	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である